

## 理学療法学科の教育

### 1. 理学療法学科の教育理念と目標

学生の個性を理解し、基礎力（能力と社会人）を十分に習熟させ信頼される理学療法士を育成する教育です。

Student's personality is understood, and the education of basic power (ability and member of society) that makes them skilled enough and promotes the trusted physical therapist.

### 2. 教育の特徴：2S2E法

(Two study methods and two law on educations.)

①Achievement study 到達度学習

②Proficiency study 習熟度学習

(Thorough education 徹底教育)

③Personality education パーソナリティ教育

④Basic power education 基礎力教育

### 3. 到達度学習とは

各教科・科目の具体的な重要目標のリストアップによる行動目標（～が説明できる。）によって授業を進めていく到達度学習を行います。

### 4. 習熟度学習とは

理学療法士に必要な専門の内容は、想起、理解、実践できるという段階的教育であります。1つ1つの段階を繰り返し徹底した学習を行います。

### 5. パーソナリティ教育とは

TCI 教育（Temperament and Character Inventory=気質性格検査を用いた教育）により学生一人ひとりの個性・パーソナリティに応じた教育を行います。

### 6. 基礎力教育とは

学内においても実習、就職のために社会人基礎力である「前に踏み出す力」、  
「考え抜く力」、「チームで働く力」を身に付ける教育を行います。

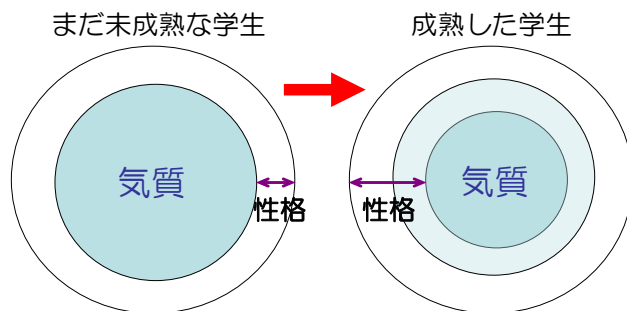
## TCI、社会人基礎力の導入理由

### 1. 学生教育に大切なこと

学生一人ひとりの個性・パーソナリティに応じた教育指導、方法が必要です。その具体的な指導方法とは個人の気質を理解し、学生を尊重した上で性格を成熟させていくことにあります。決して人間性や人格を否定するようなことがあってはなりません。

また、性格の成熟に伴い「発言」「行動」「思考」が変わる。すなわち人への関わり方が変わります。理学療法士という専門職として身につけておくべき「人への関わり方」を具体的に明確な行動能力（目標）として指導していくことが大切であると考えています。

### 学生の気質、性格を理解した教育

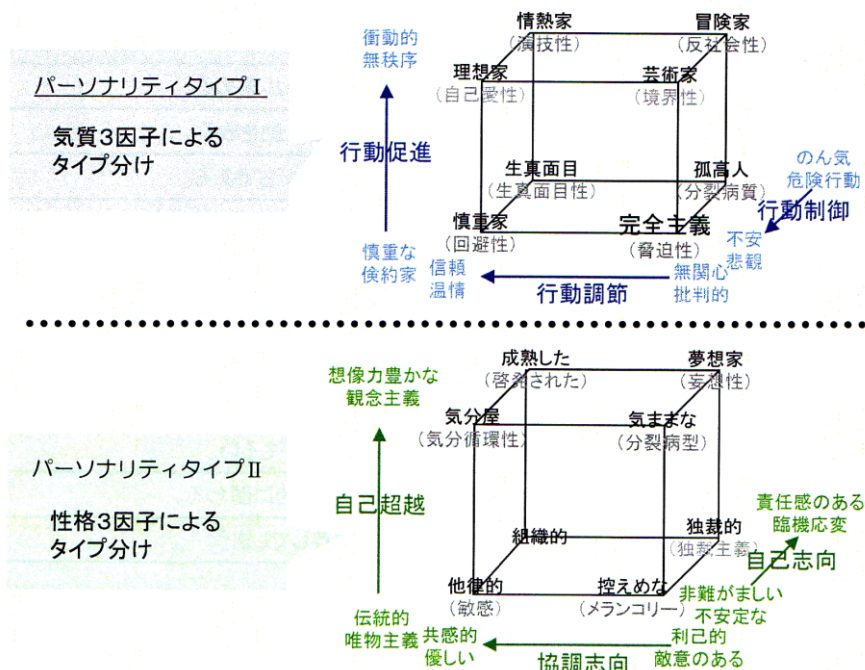


### 2. TCI教育について

米国・ワシントン大学のクロニンジャー博士が、個人のパーソナリティは遺伝性が高く、生まれながらに持つ「気質」という部分と環境や経験による学習で成長してゆく「性格」の2つに分け、TCI (Temperament and Character Inventory=気質性格検査) を開発したことにあります。現在では、その妥当性・信頼性が認められています。

TCI教育とはTCI診断（検査）より学生個人の特徴を捉え、一人ひとりに応じたコーチングを行うことで性格を成熟させることにあります。

### TCIによるパーソナリティタイプ



### 3. 社会人基礎力について

平成19年5月に経済産業省は『社会人基礎力』育成のススメを公表しました。これは学力や体力といった伝統的な能力とは別に、社会へ出ていくうえで基礎となる能力が必要であることを示しています。

この社会人基礎力は社会関係を築くうえで必要とされる能力であり、学内でも社会関係や人間関係で揉まれる経験が必要であると考えています。学校の課題を個人的にこなす能力、学力、体力だけでなく、社会人基礎力もまた、意識的に育成し、積極的に評価していく必要があると考えています。

#### 理学療法士に必要な社会人基礎力

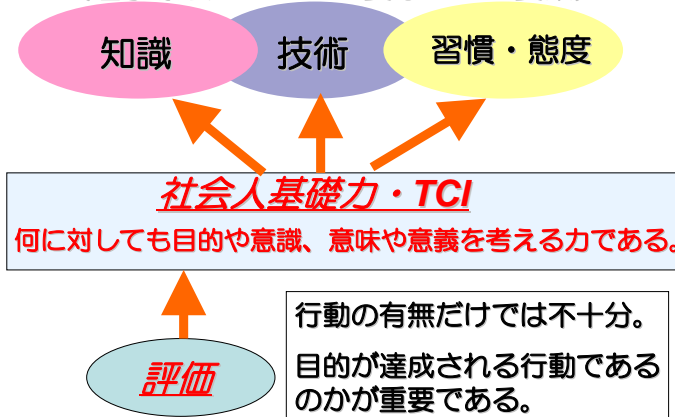
分類	能力要素	判断した理由・事柄
前に踏み出す力	主体性	自ら目的意識を持って取り組む行動を能力として評価する。
	働きかけ力	自ら周りに関わっていく行動を能力として評価する。
	実行力	自らやるべき事、やらなければいけない事を実践している行動を評価する。
考え抜く力	課題発見力	問題提起、自己分析、自己評価する能力を評価する。
	計画力	準備や計画する考え、能力を評価する。
	創造力	考えて理解する、気付く、問題解決の能力を評価する。
チームで働く力	発信力	報告・連絡・相談する能力を評価する。
	傾聴力	真意を理解する能力を評価する。
	柔軟性	頭の堅さ、受け入れる柔軟性を評価する。
	状況把握力	周囲からどう見られているのか、自分の状況を判断できる能力を評価する。
	規律性	約束、ルールを守り、常識のある行動・能力を評価する。
	ストレスコントロール力	メンタルをコントロールできる能力を評価する。

4. 理学療法士教育におけるTCI教育と社会人基礎力教育の必要性について

- ① 当学科では学生に「人への関わり方」、「実践力」、「自らが成長する力」を教育しています。講義と筆記試験だけではこの能力を身につけること、評価することはできません。そのために様々な経験、環境による教育手法が必要であります。しかし、この「コンピテンシー（能力、力量、適性）」と呼ばれる能力につながる面の能力自体として把握することは難しく、成果に向けた行動として発揮されることで把握し易くなります。この様な理由から社会人基礎力が必要であると考えています。

当校における社会人基礎力の位置づけ

(理学療法士として必要な3つの要素)



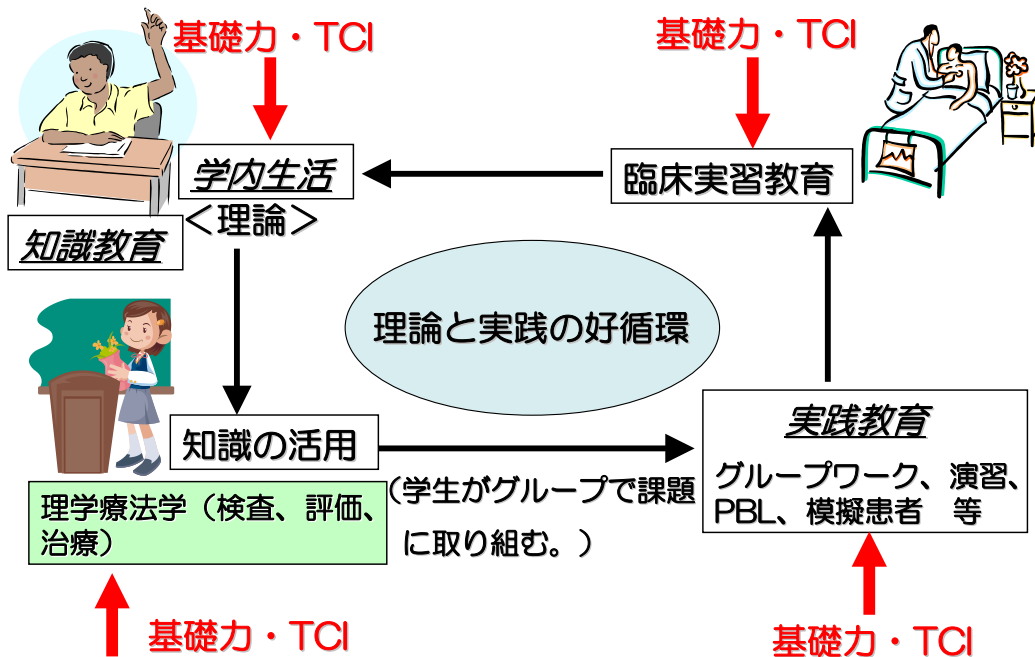
社会人基礎力をどう教育するのか？

学生に社会人基礎力を説明、能力向上の理解を得ることで問題となっている要素の用語を使用し指導を行っている。

指導の場面と範囲・内容

- ① 学生生活、学業面で生じた自己の問題  
・提出期限 ・報告、連絡、相談 ・その他
- ② 与えられた課題遂行で生じた自己の問題  
・レポート課題 ・実技 ・演習 ・グループ学習
- ③ 対象者がいる（患者）場合の自己の問題  
・施設見学 ・プレ実習 ・模擬患者 ・実習

＜社会人基礎力の育成＞



② 同じ事を同じ様に指導しても、また同じ授業を受けていても学生間に反応の違いや試験結果に差が生じてきます。この原因は1つが学力、もう1つは社会人基礎力であると考えています。この部分はこれまで、「やる気がない」「集中力がない」ということにされてきましたが、これも能力であると考えています。

※ 重要なことは「やる気がない」「集中力がない」ということを「能力」として捉え、この能力を成長させる教育だということです。これには、個々の学生の気質や性格を踏まえたTCI教育が必要であり、学力だけでなく社会人基礎力を高めることが重要であると考えているからです。